



卷之二
古蹟
世記
高元

紅印



經信卿云安樂寺此淨妙院天祥府の

時の時所也府とさしむるに三所あり
都府樓詩此所と作紙

刺議此納云の轉一中納云の久納云の轉云

久納云の久官の轉す久時本此對の事久

刺すりしころの對と加也假令多儀の本對

六戸戸なり急し中納云の對二百四十戸

加也中納云の對三百戸を放也

南極大島云放生會の旨の齋款可有前計

疾 造房申云百枚裏一但入月時の忌服薬
嫩不慮拏訊致歟 重云服薬の極中一因申云
蘇田乃類也

廳故實 獄囚二百人のおりの必非常赦あり
天怒し理也

京極大岡云天愛頻不様謝の法如何 造房

申云八字文殊 掌事 辰事 立大慮度療治不可

被治歟

後三条院法時良真の事とていへり多

寶塔不可有書の礼 又四角の張總れ有書

如何申云重、而介 又張總れ、金一、こ終

傳教大所乃所渡給の金泥泥表紙繪は見

あり又塔の人の形也 四角總、頸筋は擬

すも也

既三種とけりく金も也 舟氏要術常ニ稱獲

とる坊のつなぐと云是馬百病と除灸不

畏辟退也

泰憲卿之并官性年、つ孫の述方常と用也、

也或 丸鞠の事代事也云外記史、此より也

臨日記方と用也

近年の建殿案の磁石ありこれ以て
後針のやめりいん人形也今い
えず

深觀傳都東奇妙して新由れ毎の被修
孔雀經法神塔毎人の光輝と神泉毎
の海といんといんといんといん
の建る名例と神泉守の例といん
飛りいんといんといんといん
中けのいんといんといんといん
寛意傳都といんといんといん
といんといんといんといん

種々希有の事と現る也 一六池水震動

一三池中邊の脈といんといん

地の邊也 範後法橋請句經法と快す

又地判し新め金に地といんといん

いんといんといんといん

廻翔すめれ不相悉れの相也或人云能兼威像

師空範後と不似のめいんといん

徳母といんといん

いんといんといん

神事といんといん

何れも故罪

院日功課

沈月作云功課と定會より功課は如何
運房中を伴周大御院目は海よりて如何
ていへく今日希有弄垢此事とてそまは
實費と功課の事とてけはるるて詔
各人々實費の成りて如何に何況能人
手 上宮右村御積云實費奉功課の時齊信
公任其功ありて評定議後ともりり
實費一云云の向ふてすすともりり

春秋の記を問はし梅ありたり秋の菊と申一
と申す可い梅申一とすり宗法殿へんをばり
小田原大納言被申す云紅梅已あり梅何必為
申一と申回し紅梅と梅と論めりて春秋の記
此論とてよりぬ案大納言權勢小田原
あり論中よりわは相時の中と春の曉紅梅
の薫芳艷多きすべしと申す云云
所遠云老人星の常所至南極也海とていへ
妙范之而して不見也高の月とて瑞^瑞とす
所故の第^塔路ありてあり也近喜延長あり天龍

寛弘の國前見也秋雪より春可見之也願
赤

初年急折白猪の國上りの海に於て
行任國司なりけるは伴猪と責らせけり
の當時のて毎休て米百石を先らせ
ふけい後年猪とりてあて米百石を猪
の記しとていふ字れは使わさずいふ
せめりり猪とて包つてとせ字に傳
すていぬ國司のり海に於てけり
養議下禁乃虎は畏陣座の復り

宣仁の國前見の海に於てすの也
實錄卿説として資理卿のけり後三條院
時此宣旨の事後虎のり
立節據基の事自主半靴とてり
三條院の河院の儀殿とて毎り
奏例也とて堀河院の儀と兼用の事靴と
らせと務之に
信濃師光平の河院のり
尤亥刻とて其院者早即
の儀とてり

心月然と若越後と云ふは死胎と云ふて生
籍と云ふは母也
此乃見取の事と云ふ事一は或國策と云ふ事
了みし事

火災齋是至美日所修也

中御灌以布施と云ふ事一は向ふの童子也
房々美と云ふ事一は紫衣也
此の童子と云ふ事一は向ふの童子也
郁菩門院根合時云ふは情前國年九計也

狭戸の物根立又許のあり其根石也昌蒲
は似あまると云ふ事一は昌蒲根は火也
すもすも此の家長根は杜若根也根也
九人根の事也其根長昌蒲あり

白河院作と云ふ事一は云の金泥作は不信の事
却時不精也或當日也と云ふ事一は不精也
蓮房申云ふ事一は行符精也其也
又可人始行教行中相傳小云云と云ふ事一は不信

此は經去不便又可去金光明經中見被傳

國史人等のすることは後にのり六条宮に出す

結念の終へて饗膳と稱して海に漂はるる産靈靈應

也其作法為金一有事一玲

鳥羽殿ハ十人乃本券有而也帝德御下進廣

隆寺相持大地察相持右大納進氏御進已上

平小院相持并河邊隆寺相持前古貫進已上

已上三條基實御下進久我範俊攝都進海部

維信卿殿之人乃時後冷泉院前金海の也

也とて師基十といふもろ今日任意の事又

也不快乃天寶有と云後冷泉院の事也

思食事の時はすく他亦金しを持たる

也即基い事現奉申してもり出進維信と繼り

以なるん新也天子は死し海の人也と

被作らる上と太不快は思食事の被以事と

平家宮の付りて申さる事也是も亦然也

也見ん維信の死の事を申したる也

海に漂はる事を捕て三日の間に及らずと

被作らる事を申したる事也思食事の事也

事也是も亦然也人等の事也是も亦然也

近
皇の朝のそ見て遠東の事ありては皆御事
とて留て不召仕合もれり又人の不也
慈事御の任り来りつりし御事

南宮高山の意ありて者去野のそ奉仕
きりく代は^新新祥の依見山のそ奉仕東
清流参又此の河のそ奉仕
二条河のそ奉仕乃り西の権子あり
のそ奉仕聖の方相摸の右の内取の所
んとてつり懸ありけり也此古帝のそ奉
すとり級流字也

揚津棟銅の所居朱在院時より出来あり
也經長大徳を被語云法即位よりとせり
銅の来り揚津徳勝郡のそ銅の出来と
の所居下よりして使つりて見も
しり果して之実あり即被付下御事也
觸穢車若不入車宿のそ御由團任の
り也有真由と毎指取見不可御由来^寺
思得者也

し穢人未入^寺穢言の借テ文のそ御
て後其是と留て此の御事なり

申云種業伴旨文云并鑑出鑑由一あり
つ屋も亦か鑑之進即を包とて
か鑑由持所製也至筆書文云し
ふたりといふは縁の難器難准
例申す
造酒司の納敷六太刀自少刀自あり
少進臺歎長おとす一月土風土
間屋敷
例の内破指しより一桑院清時
伴太刀
自少へく地よりか年にてあ
る事
とト太自刀ありく地より
してす

且らここ尺許ととらん
事くはり

卯酉日し子午屋ハ不
業制由頼隆也

じり一急宿殿乃坤の庭
赤敷百のとすにて
枯損取のら遺葉より海よ
大慶寺の春代古書より
と申す人々事由と考す
めを討つておのりてと
載す

この書系係國宅の本

上東門院馬産乃時犬子の漢書此内

手見之なりけり漢大相國通德朝臣二二ハ

古名もふもれん 申とこれハ 葦 葦と名

毎何の屋へす格之らる各相や大字ハ太

字也り一太字生格へと様也と一果七

王子降越始

経上日妙の不海宅

除目一七の日記美人真形ヲ日記取

送給

川俣勝舟と申回始日舟王の馬額ト主と

柳と云々世も一々彼作し河東の

日舟と云々始と云々此の舟と不可

願始

91 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

河東の舟

舟の舟

右一冊申請 禁裏御奉命讀書
合書一冊多也 銘一字減記抄本也
不知明後日下加清書也

大和八仲夏下旬

都督御書

康和元年紀

八月廿日戊戌改承德三年為康和元年依天寶地震

正月

一日甲辰苗舍依物忌無所出又於相國傳陸步拜禮
如常也又於馬羽殿有拜禮事

二日乙巳園日家條時客中宮左史右史將為長者

三日丙午初幸名羽殿有勸書事從三位源國信

正五位下藤原家保又法皇子覺行蒙親王宣旨法皇院
大政出家後准三宮入道師明親王叙二心未例也

行幸左政上法皇子羽上貴左大臣口宣

從三位源朝臣國信院判當左大臣口宣

正五位下藤原朝臣家保院判下代越前守左大臣口宣

同日下子刻六睡院檢亡加都其門院昇震地也

十日... 叙位... 依中... 延...
從三位源朝臣... 依... 延...
從四位下藤原朝臣... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...
從五位下... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...
從五位上... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...
源朝臣... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...
源朝臣... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...
源朝臣... 依... 延...

藤原朝臣... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...

源朝臣... 依... 延...
藤原朝臣... 依... 延...
安信朝臣... 依... 延...
紀子朝臣... 依... 延...
惟宗朝臣... 依... 延...
小野朝臣... 依... 延...

若口朝臣... 依... 延...
日直朝臣... 依... 延...
伴久朝臣... 依... 延...
藤親朝臣... 依... 延...
藤重朝臣... 依... 延...

橋經朝臣... 依... 延...
板井朝臣... 依... 延...
源光朝臣... 依... 延...
藤友朝臣... 依... 延...
村主朝臣... 依... 延...

外從五位下... 依... 延...

七日... 依... 延...

十一日... 依... 延...

廿日... 依... 延...

廿二日... 依... 延...

廿三日... 依... 延...

指... 依... 延...

太子少保真人信後 元少

推少保中原 有清 元內將忠信

右少保惟宗威執 元少

白舍人源友長 以清內給 平兼良

中宮持進從位下源實房 元少

口書持助藤原顯信 二心聰子內親王

總殿助大內有光 前文章得業生

賀茂基宗 元信陽師

陰陽師 惟宗榮忠 寮奏

漏刻博士 中平長季清 奉清不佳替

少兼源有房 元共庫助

大學少元高階順兼 文章生

玄蕃少屬惟宗則 書行奏

小記推宗朝官基言 元少

右史文室朝官相定 元少

右山史戶明兼 元少

少進從位下藤原宗信 元三少持守

內院少屬菅野賴延 寮奏

陰陽少元奉長知俊 元少屬

少屬大中長光俊 元同上

伴弘信 同上

式丁大進平盛房 元少

藤原亮 元日書持助榮

惟宗初藤原友兼 元大學亮

主計管師紀親守 元道平

隼人正橋通輔 寮奏

典藥醫師 惟宗清則 寮奏

中原廣行 日

內膳典膳中原忠倫 明法舉

後理少進惟宗義行 寮奏

大和守從五位下藤原基光 元百頭

遠江守從五位下藤原長 藤原

相模守從五位下元宗兼 元少

下總守從五位下藤原延 元少

美濃守從五位下藤原 寮奏

加刺守從五位下平三衡 使

越中守從五位下藤原通孝

出雲守從五位下藤原業仲 寮

大炊元常原仲季 明但得業紀宣方

惟宗季定 日

惟宗季政 日

福守少進藤原源後仲 元教位元

惟宗範仲 明法舉

尾張守從五位下藤原長實 元中務行春

駿河守從五位下源後兼 元少

女房守從五位下惟宗基親 元元依成功

常陸守從五位上源國方 元仲

近江守源實基 元大宮亮朝實房 前司

加加守從五位下源實基 元少

丹後守從五位下高階力家 元院少元宮內

清和守從五位下藤原 元

義下坊介從五位下菅原在良

權介從二位藤原良兼

指介從五位上源師重

安藝守從五位下藤原基

讚岐守介從五位下源師親

皇前守從五位下清原定重

日向守從五位下播磨光親

左近將監大江重忠

右近將從五位下源師時

左衛門守藤原實成

右兵衛少尉源光朝

右子少乃中原有遠

從五位上藤原實南

任刑介從五位下藤原良兼

備中守從五位上藤原俊忠

備後守從五位下小藤祐房

長門守從五位上藤原經

筑後守從五位下三善信貞

肥後守從五位下源盛家

介從五位下清原俊忠

攝政

將監藤原成

石見守少尉藤原實光

大内少乃大江清章

藤原政

從五位下平 氣渡 外弟

使宣旨

從五位下源光國

藤原光 右衛門尉

執筆左下清書上之二位守師奉儀國信師賴

二月三日被引下右

二月

三日丙子

廿日丁酉大極殿被引 清原被引 觀音被引 依世調不

靜守新也

三月

廿日庚戌唐寺被引 千信步後經 依元下不靜

八月三日未校內表有蹴鞠水步
其入承於中宮侍者有前多
舍心家柳秋以序頌云風靜祀苦
而大相國以下被傳

五月
廿八日庚子有仁王舍依世間不靜
步移也
廿日辰時降草山陵三度鳴動

廿二日甲子今日降正基仍巡捨世間不靜
百基仍巡捨具
事備減仍約
但破却一宅有之數

六月大
廿三日如加國之分寺塔下牝牛生
女頭犢類白頭具

七月一日壬寅

八月

七日丁丑釋奠也依前因白穢
之以下此拜廟事之應之助
教定康濟中內穢中奉納廟像
義位一是天曆每例也
又此詩真祐通堅我康平八右下
正曆四年左下本例也
後意心所輕心初少幼不泰

十二日丙午郁芳門院六降院
佛堂供養也信正降明為通降
左下字參

十六日

近書我鳥一双逐遣奉之字
依大宮司云信許多
日去年
獻置宗祇殿之家有大凶
之惡

十七日丙寅左下家力右下
佛世本法延

廿三日甲子有文喜持士
合釋年廿年

廿八日改元為唐和元身
次於大帥師志以召
左卯記定法
其人卯云不改官所半
左書先獨於大御云
左降左卯大左卯示
左全服

可身自若定後書件... 上官... 批和... 統... 一

康和地震并疫

此... 魚... 衛...

詔訪... 建... 一... 建... 一...

無... 是以... 握... 野... 園... 臨... 赤... 縣... 主... 矣... 不... 歷... 歲... 月...

不... 用... 是... 依... 然... 徵... 而... 沒... 子... 朕... 以... 眇... 身... 謬... 為... 元... 首... 所... 寄... 者... 惟... 暫... 一... 通...

宴... 唯... 思... 法... 言... 一... 可... 慎... 所... 傳... 者... 列... 聖... 一... 規... 矣... 更... 恥... 政... 化... 一... 難... 弘... 矣...

去... 春... 一... 此... 地... 有... 震... 動... 一... 驚... 茲... 夏... 一... 同... 人... 遇... 疾... 疫... 一... 困... 若... 不... 易...

氏... 輟... 於... 今... 日... 猶... 恐... 有... 物... 積... 於... 斯... 時... 其... 政... 承... 德... 三... 年... 一... 為... 康... 和... 元... 年...

大... 赦... 天... 下... 一... 今... 日... 昧... 昧... 一... 以... 前... 六... 解... 一... 下... 罪... 比... 惟... 重... 一... 及... 元... 矣... 者... 為... 見... 已...

結... 正... 未... 結... 正... 歲... 皆... 赦... 除... 但... 一... 八... 虐... 故... 一... 謀... 殺... 和... 鈔... 錢... 強... 竊... 一... 盜... 盜... 帝...

赦... 所... 不... 免... 者... 一... 并... 解... 社... 一... 訴... 一... 筆... 不... 在... 此... 限... 一... 不... 復... 天... 下... 今... 年... 半... 信... 老... 人... 及...

信... 元... 年... 百... 歲... 一... 上... 給... 一... 一... 解... 九... 十... 一... 上... 三... 解... 八... 十... 一... 上... 三... 解... 七... 十... 一... 上...

一解庶依一天... 主者... 康和元年八月八日... 中務... 甫... 復... 五... 信... 上... 陸... 羽... 為... 保... 寧... 奉... 均...

上卿... 大內... 記... 魚... 衛... 下... 詔... 或... 一... 甫... 正... 家... 外... 進... 年... 者...

九月

廿日庚申地震

同九月

二日辛未

十月一日... 一...

十月二日... 一...

十月五日... 一...

本朝世紀

康和元年

康和五年

正月一日辛巳 辰分也 左大臣

参入世依御物心止所

出又且泰石府殿日院叙位勅 又院并下 拜礼

二日晴初幸多羽殿安下 以下参入有執事

三位藤仲实

仁

無云御百守極年并時和 右史中原資成未留守令兼仁

和 嘉善院燒三雲伏法器經論多以灰燼汚物下 狩

室也而被作多羽殿 有法出人相救也

六日叙位後也昨日依御表日延川今日雖減日能准凶舍

欠日叙位後例叙左大臣以下参入眼請下如常

七日叙馬房分也 在案下 力下 下 下 文

十一日叙馬房分也 在案下 参入 下 参下 下 有 下 下 下

一天一叙河津一叙

二月

二月 叙河津一叙

世自八眼也

瓶筆四六

三月

二月

某日入款真福寺大京劫千人系法守止伯勸学流是南

年维摩今世三人^{寻承}超上^{甚香}膺仍去此^{大京}

向主人房撤^{手供}辞退^息屯回北院^与主延^{寻承}赏

亦同^{手供}意^息如^与御^{寻承}令^{手供}被^息戮^与等^{寻承}有^息其^与劫^{寻承}人^息多^与时^{寻承}成

院^{手供}列^息田^与氏^{寻承}是^息奉^与依^{寻承}然^息奏^与抗^{寻承}右^息左^与下^{寻承}公^息行^与

四月廿日庚寅

五月一日乙卯

六月三日庚戌

七月

一日戊寅

八月五日庚戌

九月廿五日辛巳

十月一日丁未

十一月一日丙子

十二月一日丙午

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, located on the left side of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, located in the middle of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, located on the right side of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, located on the right side of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, located on the right side of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, located on the right side of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, located on the right side of the page.



